

2007年9月3日

関谷川の自然環境にご関心をお持ちの皆様へ

『関谷川のドジョウ大量死』

去る8月27日（月）早朝、鎌倉関谷スカイハイツの管理人・五十嵐さんが、関谷川のドジョウが大量に死んでいるのを発見しました。田中会長さんから連絡をいただき、現場に急行したところ、死骸はスカイハイツ裏通り沿いの流れに集中しており、大小合計でざっと200匹と推定されました（市職員推定）。こんなに多くのドジョウがいったいどこに潜んでいたのか不思議なくらいでした。少し上流ではモクズガニの死骸も発見されました（写真参照）。通報により市役所職員が現場に駆けつけて水質検査を実施しましたが、その結果は要約すると以下のとおりです：

- ① 水質チェッカーによる検査結果：D0(溶存酸素)は4.4mg/lでH17&H18の実績4.7&4.9mg/lより若干低い程度だったが、水温は29.3℃と異常に高かった。
- ② パックテストによる検査結果：CODは5mg/lで、H17&H18の実績COD5&6と同程度だった。シアン化合物やヒ素化合物は検出されなかった。

原因の真相は不明ですが、市役所の話では、夏場滑川や神戸川で、酸欠で鯉などが死んだ例もある由です。水深が浅く、よどんだ流れで、水温が上がればドジョウが酸欠で死んでもおかしくないのかも知れません。当日、現場調査時点でも、少し下流ー新風台信号突当たり付近ーで生きているドジョウが観察されたこと、新風台の早朝散歩者の話では前日の同じ時間帯にはなにも異常はなかったこと、同じ日に付近の流れでカルガモ（スカイハイツより上流地点）やコサギ（同下流地点）を観察していること、などから限られた場所で一時的に発生した現象とも考えられます。

以上



左：ドジョウとモクズガニの死骸。道路上で撮影。

右：川底に横たわるドジョウの死骸。

発信人：「関谷川をきれいにする会」事務局

柳澤 公彦（新風台）

(0467-47-4712: kimi.yanagisawa@nifty.com)